

平成 28 年度 大学院工芸科学研究科 秋入学宣誓式  
学長告辞

本日ここに入学宣誓式を迎えられた 大学院博士前期課程 16 名、博士後期課程 24 名の皆さんに対し、京都工芸繊維大学を代表し、心から歓迎の意を表します。

京都工芸繊維大学は、117 年の歴史を誇る理工系大学であり、「科学と芸術の融合」を目指して教育研究活動を行っています。大学理念を大胆に簡略化すれば、「知」と「美」と「技」、そして学風の底流に流れる「京」の四文字に縮約することができます。我々は大学活動を推進するため、教育・学生に対しては「学域制」、教員・研究に対しては「学系制」、社会貢献活動に対しては「機構制」を導入し、大学の個性と強みをのばしていくために大胆な組織改定を断行しました。キャンパスの整備においても、松ヶ崎キャンパス以外にも嵯峨野地区の再整備や京都府北部の京丹後市、綾部市、福知山市にも活動拠点を整備し、東京オフィスや英国のケンブリッジ、タイのバンコクやチェンマイにも活動拠点を拡大しています。京都工芸繊維大学は今まさに、君たちとともに、この松ヶ崎から世界に向かって新たな一歩を踏み出そうとしています。

京都工芸繊維大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学創生支援事業」に採択され、機能強化重点大学として国際的競争力をつけ、世界で戦える大学になろうとしています。こうした絶好の機会が得られたのも、本学の卒業生や先輩たちの努力と実績が認められたからであり、新入生の皆さんには、これに勝る活躍を期待しているところです。

本学の学生は、専門分野における基本知識と専門技能をよく修得し、優秀な技術者として、企業や社会から高い評価を得ています。実際、日経キャリアが行っている、全上場企業対象の「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」では、毎年、全国 800 大学中上位 2% 以内にランキングされ、京都工芸繊維大学の實力は皆さんが想像する以上に認められています。京都工芸繊維大学は、強みを積極的に活かした大学、小さくとも質が高く、魅力的ですべての分野が光を放つ、キラキラと輝く宝石のような大学をめざして活動しています。

我々は、世界でオンリーワンの研究や技術の開発を目指しています。「スモールラボ・ビッグサイエンス」、これをテーマに掲げて研究活動をおこなっています。小さな研究室から大きな科学を生み出すためには、流行に流されない研究を大切に、他大学でもできる研究は他大学に任せ、リスクを冒して挑戦している研究室が尊敬される雰囲気を醸成しなければなりません。同時に、研究室のタコ壺化を避け、国際化を図るため、ユニット招致事業によって海外有力校から、研究チームを本学に招聘し、共同研究、共同教育を展開していきます。スタンフォード大、スイス連邦工科大、ケンブリッジ大、ロンドンのインペリアルカレッジやアジアの大学との連携をさらに強化したいと考えています。

教育・人材育成の観点からは、スーパーグローバル事業を活用し、10年間にわたる大学全体の国際化計画を実施しています。若手教員を毎年10名、海外に派遣し教育水準の国際化を図ると同時に、事務職員の方も海外派遣することによって事務局各課の国際化を図ります。学生の皆さんも留学や海外インターンシップに参加していただき、すべての学生が海外を経験してから社会に出ていくことが大切です。海外での体験学習を経て、海外で活躍できる人材、職場でリーダーシップを発揮できる人材、我々が「テックリーダー」と呼ぶ人材を輩出していきたいと考えます。英語力という点からはTOEIC730点を平均値として教育プログラムが設計されています。皆さんも決して気後れすることなく、粘り強く英語の勉強を続けていただきたいと思います。

大学の活動は、教育・研究・社会貢献の3つの領域から構成されていますが、本学においては、「COC」、「COI」、「COG」の3つの拠点形成事業を通じて社会に貢献しています。COCは、「センター・オブ・コミュニティ」の略で、大学は地域の核となって地方活性化に寄与すべし、COIは「センター・オブ・イノベーション」の略で、大学はイノベーション創出の核となって産業界に貢献すべし、COGは「センター・オブ・グローバルイノベーション」の略で、大学は国際化の拠点を形成し、世界競争力を強化すべし、という意味です。

COC事業では、本学は、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択され、京都府北部のサテライトキャンパスを拠点として、北部5市2町を中心に府全体の地域活性化に貢献しています。また、COI事業では、「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」事業のサテライト拠点として、企業と共同してイノベーション事業の社会実装化に努めています。さらに、COG事業では、国際競争力を高めるために、ユニット招致を通じて海外の有力大学から、講座を丸ごと本学に招致し、共同教育や共同研究を展開しています。逆に海外留学や海外インターンシップを強く推進するために、海外に拠点を整備し、学部4年次と修士課程を一体的に運用し、海外への学生派遣事業を量質ともに増大する予定です。

本学は今、大胆な大学改革を断行し、世界に冠たる大学になるために尽力しています。キャンパスは、高揚感に包まれ、意欲と勢いに満ちています。大学改革という大きな歴史の節目に入学された皆さんも、この雰囲気を感じ、我々が提供するさまざまなプログラムに積極的に参加していただき、自らを鍛えるためにも幅広い経験を積んでください。皆さんに望むのは、専門家になることに満足せず、専門家を指揮する力、専門家を活用して新たな技術革新を起こす能力を涵養していただくことです。

今日から皆さんは、京都工芸繊維大学の構成員です。大学生活では学則その他の規則を順守するだけでなく、人としてやってはいけないこと、人としてやるべきことを考え、人間的な判断ができる強い意志と高い見識を養っていただきたいと思います。京都工芸繊維大学をよく知り、そして好きになること。それが自らの学習と研究活動に自信と誇りを与え、より困難な課題、より高い課題に取り組む勇気を与えてくれます。私たちの研究成果や教育成果は、常に世界とつながっており、海外からも見られていることを意識して学生生活を送ってください。勉学や研究において、一つでも多くの感動を体験し、それらを友人と共有することによって、実り豊かな学生生活を送られることを祈念しています。

平成 28 年 9 月 27 日  
京都工芸繊維大学長  
古山 正雄